



## 令和3年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和2年8月7日

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4274 URL http://www.hosoya-pyro.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 穰志  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 秋葉 真奈美 TEL 042-558-5111  
 四半期報告書提出予定日 令和2年8月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年3月期第1四半期の業績（令和2年4月1日～令和2年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第1四半期	227	△28.9	8	△79.9	9	△77.9	7	△76.1
2年3月期第1四半期	320	11.5	42	△3.0	44	△2.7	30	△21.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第1四半期	1.84	—
2年3月期第1四半期	7.71	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第1四半期	3,752	2,487	66.3
2年3月期	3,766	2,482	65.9

(参考) 自己資本 3年3月期第1四半期 2,487百万円 2年3月期 2,482百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	—	—	6.00	6.00
3年3月期	—	—	—	—	—
3年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和3年3月期の業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,564	0.9	145	△13.9	144	△15.5	100	△12.3	25.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年3月期1Q	4,032,000株	2年3月期	4,032,000株
② 期末自己株式数	3年3月期1Q	29,466株	2年3月期	29,466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年3月期1Q	4,002,534株	2年3月期1Q	4,002,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります、当社としてその現状を約束する趣旨のものでもありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、武漢を発端とした新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、企業活動、経済活動が大きく制限を受け、景気減速懸念が一層高まりました。感染症拡大は収束の見通しが立たず製造業にも深刻な影響を及ぼし、火工品業界においても先行きは不透明となり厳しい状況が継続いたしました。

このような環境のもと、当社では火工品事業において訓練用火工品に対する防衛省の予算抑制が続き、前年同期と比べ受注は減少いたしました。また、民間向け製品では感染症拡大による国内外の企業活動の停滞が影響し、納期が第2四半期以降に延びたことなどから売上高は前年同期を下回りました。

損益面では、製造工程の改善による原価低減は成果を上げているものの、売り上げの減少が影響し、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は227百万円(前年同期比28.9%減)、営業利益8百万円(同79.9%減)、経常利益9百万円(同77.9%減)、四半期純利益7百万円(同76.1%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① 火工品事業

火工品事業におきましては、比較的利益率の高い製品の納期先延ばしに加え、感染症拡大による経済活動の停滞で民間向け製品が伸び悩み、売上高は減少いたしました。しかし、製品の品質向上及び効率化を目指した設備投資は継続しております。

この結果、売上高は186百万円(前年同期比33.0%減)、セグメント損失は8百万円(同137.1%減)となりました。

## ② 賃貸事業

賃貸事業におきましては、売上高は41百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は29百万円(同3.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は3,752百万円(前事業年度末比13百万円減)、負債合計1,265百万円(同18百万円減)、純資産合計2,487百万円(同4百万円増)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の業績予想につきましては、前回発表(令和2年5月25日「令和2年3月期決算短信[日本基準](非連結)」)の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (令和2年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和2年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	934,073	838,414
受取手形及び売掛金	278,353	170,374
電子記録債権	15,853	27,722
商品及び製品	43,096	44,576
仕掛品	190,797	292,853
原材料及び貯蔵品	227,124	258,789
その他	11,458	28,768
流動資産合計	1,700,758	1,661,500
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	279,120	280,407
土地	1,319,550	1,319,550
その他(純額)	158,186	153,839
有形固定資産合計	1,756,858	1,753,797
無形固定資産	49,561	47,043
投資その他の資産	259,415	290,512
固定資産合計	2,065,835	2,091,354
資産合計	3,766,594	3,752,854
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,255	69,546
短期借入金	611,004	611,004
未払法人税等	32,658	10,096
賞与引当金	43,220	65,469
その他	119,483	106,840
流動負債合計	877,621	862,957
固定負債		
長期借入金	169,565	166,814
リース債務	42,856	40,186
退職給付引当金	54,632	50,987
役員退職慰労引当金	68,135	70,246
製品保証引当金	469	438
資産除去債務	9,434	9,434
その他	60,970	64,041
固定負債合計	406,064	402,148
負債合計	1,283,685	1,265,106

(単位: 千円)

	前事業年度 (令和2年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和2年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	2,137,202	2,120,571
自己株式	△14,690	△14,690
株主資本合計	2,342,233	2,325,602
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140,675	162,146
評価・換算差額等合計	140,675	162,146
純資産合計	2,482,908	2,487,748
負債純資産合計	3,766,594	3,752,854

## (2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年6月30日)
売上高	320,353	227,923
売上原価	196,680	143,751
売上総利益	123,673	84,172
販売費及び一般管理費	81,083	75,599
営業利益	42,589	8,573
営業外収益		
受取配当金	2,843	2,472
雑収入	301	448
営業外収益合計	3,144	2,920
営業外費用		
支払利息	980	1,084
雑損失	0	508
営業外費用合計	980	1,593
経常利益	44,753	9,900
税引前四半期純利益	44,753	9,900
法人税、住民税及び事業税	21,484	8,921
法人税等調整額	△7,602	△6,404
法人税等合計	13,882	2,516
四半期純利益	30,871	7,384

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。